

2024年度以降入学生の保護者様

2026年度 父母説明会 管理栄養学科

管理栄養学科 教務委員
野村知未 大澤絢子

1

2026年度父母説明会、管理栄養学科のご説明です。ご覧いただきありがとうございます。

こちらのスライドは、2024年度以降 入学生の保護者様対象となっております。2023年度以前 入学生の保護者様は、もう一方のスライドをご覧ください。

必修科目と選択科目

必修科目(◎):必ず単位を取得しなければ
ならない→卒業できない

選択科目(○):必ずしも単位取得しなくてよく、
他の科目を選んでもよい

注意！！

管理栄養学科の専門科目の一部は○であるが、
管理栄養士国家試験を受けるには、必修で
ある科目がある

2

まず、必修科目と選択科目についてです。

必修科目と選択科目については、時間割や履修要綱に記載されており、必修科目は二重丸、選択科目は一重丸で区別されています。

必修科目は、必ず単位を取得しなければならない科目で、こちらを取得しなければ卒業できません。

選択科目は、必ずしも単位を取得しなくてもよく、他の科目を選んでも構いません。管理栄養学科の専門科目の一部は一重丸の選択科目ですが、管理栄養士国家試験を受けるためには必修となる科目がありますので、ご注意ください。

授業科目の成り立ち

1. 共通基盤教育科目(1～2年)
 - ・ 全学科ほとんどが共通
 - ・ 英語も含まれる
 - ・ 必修と選択がある
2. 専門基礎導入科目・専門基礎科目(1～2年)
 - ・ 学科独自科目
 - ・ 必修がほとんどである
3. 専門科目(2～4年)
 - ・ 学科独自科目
 - ・ 必修と選択がある

3

授業科目の成り立ちについて、ご説明します。

1. 共通基盤教育科目は、主に1, 2年生で履修します。全学科ほとんどが共通で、英語も含まれます。必修と選択科目があります。

2. 専門基礎導入科目・専門基礎科目は、主に1, 2年生で履修します。学科独自の科目で、必修がほとんどです。

3. 専門科目は、2～4年生で履修します。学科独自の科目で、必修と選択があります。

管理栄養学科 授業科目配当表 (履修要綱から抜粋)

[2024年度入学生用]

◎必修科目、○選択科目

教育 区分	授 業 科 目	必 選 別	単 位 数	週時限数(1時限:100分)							
				1年		2年		3年		4年	
				前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期
専 門 入 基 礎	化学基礎	◎	2	1							
	化学基礎実験	◎	1	※							
	生物学概論Ⅰ	○	2	1							
	生物有機化学	○	2	1							
	生命科学概論	◎	2		1						

※については、別途授業回数を示す。

こちらは、管理栄養学科授業科目配当表で、履修要綱から抜粋しています。

各授業科目が、必修・選択科目のいずれかは、真ん中あたりの必選別で確認でき、さらに、各科目の履修単位数と、履修時期を確認することができます。例えば、一番上の科目、化学基礎は、必修科目であり、1年時の前期に履修することとなります。

本学における標準的な修得単位数

- 1年次終了時:40単位以上
- 2年次終了時:80単位以上
- 3年次終了時:116単位以上
- 4年次終了時:124単位以上

(前期終了時の修得単位数に履修中の単位を加える)

5

本学における標準的な習得単位数は、こちらに示した通りです。

前期終了時の修得単位数に、履修中の単位数を加えることで、標準的な修得単位数になっているかを確認していただくことができます。

卒業までの3つの関門

1) 卒業研究履修の資格

この資格が取れないと卒業研究(4年必修)が履修できない

2) 卒業要件

合計 124単位以上

3) 管理栄養士国家試験受験資格

6

管理栄養学科の学生には、卒業までの3つの関門があります。

1つ目として、卒業研究履修の資格です。この資格が取れないと、卒業研究が履修できません。

2つ目として、卒業要件です。4年間で124単位以上の取得が必要ですが、科目の区分によって、必要な単位数が異なります。

3つ目は、管理栄養士国家試験受験資格の取得です。これらについて、詳しくご説明します。

1) 卒業研究履修の条件

- 3年次終了までに所定の科目の単位を修得していないと、4年次に卒業研究を履修することができない。



留年

7

1. 卒業研究履修の条件です。

3年時終了までに所定の科目の単位を修得していないと、4年時に卒業研究を履修することができません。その結果、留年となり、4年間の卒業が難しくなります。

卒業研究履修(着手)の資格

- 4年次において卒業研究を履修するためには、次の条件を満たしていなければならない。
 - 3年次終了時の必要単位数 104単位
(共通基盤教育:16単位以上を含む)
 - 履修・修得が必要な4つの区分(次のスライド)
 - 共通基盤教育科目
 - 専門基礎導入科目
 - 専門基礎科目
 - 専門科目

8

卒業研究履修の資格についてお示します。

4年時に卒業研究を履修するためには、3年時終了時に必要単位数の104単位を履修していることが必要です。修得していなければならない、4つの区分について次にご説明します。

卒業研究履修にかかわる科目

3年次終了時までには修得していなければならない科目		
(区分)	(科目)	
共通基盤教育科目	スタディスキル 身の回りの数学 情報・AIリテラシー	3 科目
	英語Ⅰ、英語Ⅱ 英語Ⅲ、英語Ⅳ 英語Ⅴ	5 科目中 2 科目
専門基礎導入科目	化学基礎 化学基礎実験 生命科学概論	3 科目

※1年次配当科目、2年次配当科目

9

3年時終了までに修得していなければならない科目は、各区分によって決められています。

オレンジで示した科目は、1年時配当科目、緑色は、2年時配当科目です。共通基盤教育科目の上段の3科目は、すべて修得していなければなりません。下段の英語につきましては、5科目中2科目を修得しておく必要があります。専門基礎導入科目は、こちらに示した3科目すべてを修得しておく必要があります。

3年次終了時までには修得していなければならない科目	
専門基礎科目	専門科目
栄養生命科学概論	基礎栄養学
健康管理論	基礎栄養学実験
公衆衛生学	応用栄養学Ⅰ
解剖生理学Ⅰ	応用栄養学実習
解剖生理学Ⅱ	栄養教育論Ⅰ
解剖生理学実験	栄養教育論Ⅱ
生化学Ⅰ	栄養教育論実習Ⅰ
生化学Ⅱ	臨床栄養学Ⅰ
生化学実験Ⅰ	臨床栄養学Ⅱ
食品学Ⅰ	臨床栄養学実習Ⅰ
食品学Ⅱ	臨床栄養学実習Ⅱ
食品学実験Ⅰ	公衆栄養学Ⅰ
食品衛生学	公衆栄養学実習
食品衛生学実験	給食経営管理論Ⅰ
調理学	給食経営管理論Ⅱ
調理学実習Ⅰ	給食経営管理実習
調理学実習Ⅱ	

33科目中31科目

※ 1年次配当科目
2年次配当科目
3年次配当科目
全て必修科目

10

続いて、専門基礎科目、基礎科目についてお示します。

科目名のオレンジ色が、1年時配当科目、緑色が2年時配当科目、青色が3年時配当科目を示し、2年時配当科目の割合が高くなっています。これらの科目は、33科目中31科目を修得していなければなりません。

卒業研究履修(着手)条件の確認

※学業成績表の集計表

区分	卒業 要件	修得単位					合計	卒業 不足	卒研 不足	履修 中
		1年	2年	3年	4年	認定				
導入系										
倫理系										
人文社会系										
倫理人社自由										
健康スポーツ系										
英語基礎系										
中略										
専門 選必										
専門 選択										
専門教育選択										
任意										
総合計								注1	注2	注3 注4
卒研着手条件科目不足科目数 (注5)										
GPA (注6) 学期末 () 累計 ()										
担当教員 (注7)										

＜注意すべき箇所＞

注1…今学期までに修得（合格）した単位数

注2…卒業する為に不足している単位数

注3…卒業研究に着手する為に不足している単位数

注4…後期に履修している単位数

（もしくは成績判定中科目：成績表の評価欄では○表記）

注5…卒業研究に着手する為に不足している条件科目数

注6…GPA (Grade Point Average) 成績を数値化したもの

【Campus Life Guide 2026 履修・授業編 p.116-117参照】

注7…担当教員 1～3年生は、クラス担任

担当教員 4年卒研着手者は、卒研指導教員

上記注意すべき箇所の数字(単位数/科目数)について、裏面のご案内と照らし合わせてご確認ください。

3年次終了までに注3と注5を「0」にしないと卒業研究に着手できない＝卒研未着＝4年次留年

11

卒業研究履修(卒研着手)条件の確認は、学業成績表の集計表をご覧ください。

注3、注5の数字が3年時終了までに0にならないと、卒業研究を履修することができません。特に3年生は、こちらのご確認をお願い致します。

CAP制度と履修について

(Campus Life Guide 2026 履修・授業編 p.101)

- 履修単位の上限を設定する制度

事前事後学修(予習復習)に必要な時間を十分に確保するため
自分の学業状況に見合った履修科目数を設定し無理をしない。
過剰な履修科目数の設定は、それに伴い多くの事前事後学習が
要求され、さらに同時期に多数の科目の定期試験が集中する。

- 上限履修単位数: 年間48単位、半期26単位

例) 前期に26単位取得したら、残りは $48-26=22$ となるため、
後期は22単位の取得しかできない。

仮に1年次終了時の修得単位が0単位だった場合、残りの3年間で、年間48単位を修得すると、
合計144単位の修得となり卒業要件単位数124単位を超えるが、CAP制限により2年次と3年次
の2年間では最大96単位となり、着手に必要な単位に不足がある為4年間での卒業はできない。

12

CAP制度と履修についてご説明します。

こちらは、履修単位の上限を設定する制度で、事前事後学修に必要な時間を十分に確保するため、ご自身の学業状況に見合った履修科目数を設定するという制度です。CAP制度により、上限履修単位数は、年間48単位、半期26単位となります。

仮に、1年時修了時の修得単位数が0単位だった場合、残りの3年間で年間48単位を修得すると、合計144単位の修得となり、卒業要件単位数124単位を超えますが、CAP制度により、2年時、3年時の2年間では最大96単位となり、卒業研究着手に必要な単位数104単位に達しないため、4年間の卒業はできません。

2) 卒業までに必要な単位（履修要綱参照）

教育区分			必修別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導入系		必修	1
	倫理系		必修	2
	人文社会系	a群	選択	2
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	健康・スポーツ系		選択	1
	言語系	英語基礎	選択	3
		言語応用	a群	3
			b群	
	数理情報系		必修	4
			(小計)	20
専門教育	専門基礎導入		必修	5
	専門基礎		必修	29
	専門		必修	30
			選択	29
				(小計)
任意				11
合計				124

任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、自由科目。

(注) 教職課程の登録者は、教職科目のうち、「学校と教育の歴史」「教育心理学」および「教育行政論」の修得単位を、卒業要件の共通基盤教育の人文社会a群b群およびc群にそれぞれ集計することができる。これら以外の教職科目の単位は卒業要件に含めることができない。

13

2. 卒業までに必要な単位です。

教育区分ごとに、卒業必要単位数 以上の修得が必要で、卒業には、合計124単位以上の修得が必須となります。

3) 管理栄養士国家試験受験資格 (履修要綱参照)

「国家試験受験資格を得る」とこと
「卒業できる」とことは異なる。

以下の科目は「選択(○)」となっているが、国家試験
受験資格を得るためには、履修しなければならない。

生化学実験II	応用栄養学II	公衆栄養学II
微生物学	応用栄養学III	臨地実習(3単位:複数年次)
微生物学実験	栄養教育論III	総合演習
病理病態学I	栄養教育論実習II	管理栄養士基礎セミナー
病理病態学II	臨床栄養学III	専門演習I
食品学実験II	臨床栄養学IV	専門演習II

※1年次配当科目、2年次配当科目、3年次配当科目、4年生配当科目

14

3. 管理栄養士国家試験受験資格についてです。

国家試験の受験資格を得ることと、卒業できることは異なります。スライドに示した科目は、選択科目となっていますが、国家試験受験資格を得るためには、履修しなければなりません。オレンジ色で示した科目は、1年時配当科目、緑色は2年時配当科目、青色は3年時配当科目、紫色は4年時配当科目です。臨地実習は、複数年次で設定があります。

臨地実習

- ① 給食運営臨地実習（2年後期～1週間）※必修
必要科目：給食経営管理論Ⅰ・Ⅱ、食品衛生学、給食経営管理実習
- ② 臨床栄養A臨地実習（3年後期～3週間）
必要科目：臨床栄養学Ⅰ～Ⅳ、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ、給食運営臨地実習
- ③ 臨床栄養B臨地実習（3年後期～2週間）
必要科目：臨床栄養学Ⅰ～Ⅳ、臨床栄養学実習Ⅰ・Ⅱ、給食運営臨地実習
- 公衆栄養臨地実習（4年後期～1週間）
必要科目：公衆衛生学、健康管理論、
公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ、公衆栄養学実習、給食運営臨地実習

**管理栄養士国家試験受験資格を得るには①＋②、または①＋③の修得が必要。
それぞれの実習の必要科目が修得されていないと実習に出られない
⇒次の学年と同時にでることとなる。**

15

臨地実習について、ご説明します。

臨地実習は、学内の実習ではなく、学外で実習を行います。管理栄養士国家試験の受験資格を得るには、①の給食運営臨地実習に加え、②の臨床栄養A臨地実習、または、③の臨床栄養B臨地実習と公衆栄養臨地実習の修得が必要です。それぞれの臨地実習の必要科目が修得されていないと、正規の開講時期に実習にでることはできず、次の学年と同時にでることとなります。

1年生

- 前期の取得単位(科目)を確認。
未修得の単位(科目)は来年度以降に再履修。
- 1年生後期は必修科目が多い。
計画的に単位を取得すること。
学年が上がるほど、時間割の都合上「再履修」が難しくなるので、必ず、**正規の開講時期に単位修得**できるよう、努力すること。

16

続いて、1年生の履修の注意事項です。

前期の取得単位、科目を確認しましょう。未修得の単位、科目は来年度以降に再履修してください。1年生後期は、必修科目が多くなります。計画的に単位を取得してください。学年が上がるほど、時間割の都合上、再履修が難しくなりますので、必ず正規の開講時期に単位が取得できるよう努めましょう。

2年生

- 前期の取得単位(科目)を確認。
- 再履修科目が複数の学生
どの授業を履修するかによって、卒業研究の履修(着手)ができなくなる可能性がある。履修について 不明な点は、担任や教務委員に相談すること。

17

2年生の履修の注意事項です。前期の取得単位を確認しましょう。

再履修科目が複数ある学生は、どの授業を履修するかによって、卒業研究の履修ができなくなる可能性があります。履修についてご不明な点は、クラス担任や教務委員にご相談ください。

3年生

- 前期の取得単位(科目)を確認。
- 卒研着手条件科目不足科目数を確認。
- 3年次末の成績により、卒研未着手が確定した場合、**研究室配属は取り消し(実質的に留年)**となる。
- 臨床栄養臨地実習の日程のため、後期前半は、専門科目について前倒し授業を行う。
1日に2回同じ科目が開講される。
(1日欠席すると2回分の授業を欠席することになる。)

18

3年生にむけた履修の注意事項です。

前期の取得単位、科目を確認しましょう。卒研着手条件科目の不足科目数を確認し、3年時終了までに0になるようにしましょう。3年時末の成績により、卒研未着手が確定した場合、現在決まっている研究室配属は取り消しとなります。臨床栄養臨地実習のため、後期前半は、専門科目について前倒し授業を行います。1日に2回同じ科目が開講されますので、スケジュールと体調の管理にご注意ください。1日欠席すると2回分の授業を欠席することになります。

お願い

管理栄養学科は履修科目が多く、学業とアルバイトとの両立が難しい学生もいます。学業中心の学生生活が送れるよう、ご支援をお願いいたします。

19

授業に関するお願いです。

管理栄養学科は、履修科目が多く、学業とアルバイトの両立が難しい学生もいます。学業中心の学生生活が送れるよう、ご支援のほどよろしくお願い致します。

お問い合わせ

- 学生生活・家庭・進路のことについての相談
1～3年生、卒研未着手者はクラス担任
4年卒研着手者は卒研指導教員
- 授業についての相談
管理栄養学科 教務委員
 - 野村知未 (C6号館・306号室)
snomura@bio.kanagawa-it.ac.jp
 - 大澤絢子 (C6号館・317号室)
osawa@bio.kanagawa-it.ac.jp

20

最後に、お問い合わせにつきましてご連絡申し上げます。

学生生活・家庭・進路のことについての相談は、1～3年生または卒研未着手者はクラス担任へ、4年生卒研着手者は、卒研指導教員へご連絡ください。

授業についてのご相談は、管理栄養学科教務委員の野村、大澤までご連絡お願いいたします。

ご説明の資料は以上です。ありがとうございました。